

みやぎの木づくり運動

みやぎ材利用のススメ

＜みやぎ材活用事例集＞ VOL.8



宮城県産材を使用して建設された災害公営住宅（山元町新山下駅周辺地区(第1期)）

 宮城県

みやぎの木づくり運動とは？

県内の森林資源は、スギを中心とする人工林の成長により、良質な県産材を安定的に供給できる時期を迎えています。

この森林資源を有効利用することにより、森林の整備が推進され、ひいては森林が持つ「災害の防止」や「地球温暖化の防止」、「水資源のかん養」といった公益的機能の発揮にもつながります。

県では、一層の県産材の利用拡大を図るため、県内の市町村、関係団体、企業等と広く連携し、社会全体で県産材利用推進のPRを行う「みやぎの木づくり運動」を展開しています。

合い言葉は、～身近なところから県産材を使おう～

一部の中学校の技術家庭科の授業で県産木材が使用されています。

○お問い合わせ先/仙台市立宮城野中学校（荒明先生）

電話 022-256-0215

●みやぎの木づくり事例



宮城県産材を活用した木製品（株式会社ケアサービス希慈（石巻市））



東日本大震災で被災した県内の木材を加工した合板が宮城県庁の知事応接室のテーブルに使用されています。



みやぎの木づくり運動シンボルマーク

みやぎの木づくり運動を統一的に推進するためのシンボルマークです。

みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

みやぎ材利用センター

「みやぎ材利用センター」は、材面や寸法、含水率などの品質検査に合格した宮城県産の木
材製品を「優良みやぎ材」として認証し、安定的に供給するワンストップサービス窓口です。
また、消費者から信用され、安心してご利用いただけるよう、産地や生産者、含水率、強度な
どの製品情報を提供しています。

製品に関するお見積もり、ご注文等は、下記の建築資材部、土木資材部、合板資材部まで直
接お問い合わせ下さい。

建築資材部



●主な取扱商品

構造材(土台・柱・梁・桁など)・造
作材(天井・敷居・鴨居・枠材・床
材・壁面材など)・下地材などの
建築用資材



県産材をふんだんに使った住宅は、住む人に
温かみと安らぎを感じさせてくれます。
また、木は本来、強度・断熱性・耐火性・耐久性
などバランスのとれた能力を持っています。



■問合せ先

〒983-0036
仙台市宮城野区苦竹2-7-30
(宮城木材文化ホール内)
TEL022-239-2011(FAX兼)

土木資材部



●主な取扱商品

杭丸太・加工丸太・チップ材など
の土木用資材



道路の法面工事など修景を必要とする工事
や、急勾配護岸工、擁壁工、流路工等に利用
されています。



木製の防風垣は、塩害にも強いことから海岸
地域での利用に適しています。

■問合せ先

〒981-3601
黒川郡大衡村大瓜字沓掛112
(宮城県森連大衡総合センター内)
TEL022-345-2205(代)
TEL022-345-2948

合板資材部



●主な取扱商品

県産合板
(構造用合板・型枠用合板・厚物
合板・長尺合板など)



厚物合板を床に使うと、火打ち梁と根太の省
略で施工が容易になり、地震に対する性能が
アップします。



全国各地で、地元産合板が選挙候補者ポスタ
ー掲示用看板として使用されています。

■問合せ先

〒986-0005
石巻市大瓜字棚橋下待井65-1
(石巻地区森林組合内)
TEL0225-93-1711(代)
TEL0225-93-1707

優良みやぎ材とは？

「優良みやぎ材」は、規格や寸法、含水率などの品質を「みやぎ材利用センター」が検査し、合格した宮城県産の木製品です。宮城県内の森林から合法的に伐採された原木を使用し、県内の認定工場で製材・加工されています。

認証シール

優良みやぎ材



みやぎ材利用センター

みやぎ材利用センターが品質を検査し、合格した木製品には、安心・安全の証として「優良みやぎ材認証シール」が貼付されます。また、原木生産地名や製材・加工社名などを証明するため、「優良みやぎ材認証書」も交付されます。

検査に合格し、「優良みやぎ材認証シール」を貼り付けられた木材



優良みやぎ材の検査の様子



優良みやぎ材で建築したモデルルーム「優良みやぎ材の家」
(場所：宮城木材文化ホール内 (仙台市宮城野区))

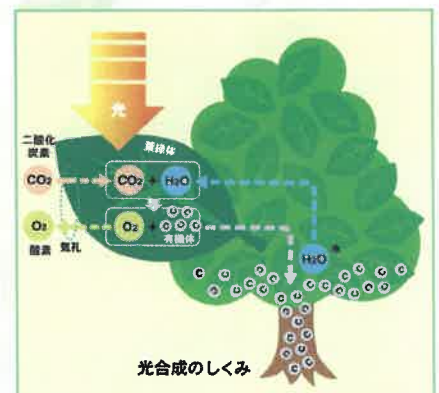


炭素と二酸化炭素のおはなし

地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素を大気中から吸収し、蓄えてくれる森林は、植林を繰り返すことで永続的に木材を産出します。木材で住宅等の建築物をつくることは、環境に負荷を与えないばかりか、炭素を街の中で蓄えるという、理想的な循環系を生み出します。

家1軒でどのくらい二酸化炭素を蓄えているのでしょうか？

木材1㎡当たりの重量は比重が0.4なので0.4tになり、炭素の貯蓄量は重量の50%なので、0.2tとなります。この炭素の量を二酸化炭素に換算すると(炭素の量の約3.7倍)、約0.74tとなります。したがって、住宅1棟(延床面積40坪程度)あたり、平均的な木材使用量20㎡を当てはめると、蓄えている二酸化炭素の量は、約15tとなります。



県産材利用への支援(みやぎ環境税活用事業)

宮城県では、地球温暖化防止や森林環境の維持保全などに対応するため、平成23年4月から導入された「みやぎ環境税」を活用し、県産材の利用拡大を支援しています。

木の香る公共建築・おもてなし普及促進事業



県産材を活用した木造公共施設の新設など、県民のみなさんが直接木に触れ、木のぬくもりを実感できる場所の創設に対して助成を行っています。また、店舗や学校等、多くの県民の方が行き交う施設の木質化や木製品の配備を推進しています。

○お問い合わせ先

宮城県農林水産部林業振興課みやぎ材流通推進班
電話022-211-2912

木の香る公共建築・おもてなし普及促進事業活用事例
社会福祉法人白石陽光園「こすもすの家」(白石市)



市町村の公共施設等木質化に対する助成

みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業(市町村振興総合補助金)

宮城県では、県民のみなさんに安心・安全な木のやすらぎの空間を提供するとともに、その事例について広く周知することにより、県産材製品の利用促進と木造・木質化施設の普及促進を図ることを目的として、市町村を対象に、公共施設等の木造モデル施工及びPR活動費の一部を助成しています。

○お問い合わせ先

- 大河原地方振興事務所林業振興部 電話0224-53-3249
- 仙台地方振興事務所林業振興部 電話022-275-9252
- 北部地方振興事務所林業振興部 電話0229-91-0719
- 北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部 電話0228-22-2381
- 東部地方振興事務所林業振興部 電話0225-95-1436
- 東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部 電話0220-22-6125
- 気仙沼地方振興事務所農林振興部 電話0226-24-2535
- 宮城県農林水産部林業振興課みやぎ材流通推進班 電話022-211-2912



公共施設等木質化の事例

○栗原市高清水総合支所

栗原市旧花山・栗駒産のスギ材を木質大断面集成材に加工・使用しています。



事業者	栗原市
所在地	栗原市高清水中町39
構造	木造平屋建
延床面積	1,076.47㎡
木材使用量	205㎡
完成年月	平成25年11月



○丸森町高齢者生産活動センター「丸森手しごと館」

天井を設けず柱や梁が直接見えるようにし、木造ならではの温かさや色感を伝統工芸の作業をしながら体感できる作りとなっています。



事業者	丸森町
所在地	丸森町字鳥屋120
構造	木造平屋建
延床面積	498.51㎡
木材使用量	65.68㎡
完成年度	平成25年3月



○大河原消防署川崎出張所・白石消防署蔵王出張所

事務室の壁の一面木張りや梁に地域材を使用し、表を見せることで、木造建築物の強さ、安らぎと木の温もりを感じてもらえる作りとなっています。

○大河原消防署川崎出張所

事業者 仙南地域広域行政事務組合
所在地 川崎町大字前川字町尻11-1
構造 木造平屋建
延床面積 273.3㎡
木材使用量 22.78㎡
完成年月 平成25年3月



○白石消防署蔵王出張所

事業者 仙南地域広域行政事務組合
所在地 蔵王町大字円田字谷地76-2
構造 木造一部鉄骨造
延床面積 335.99㎡
木材使用量 73.178㎡
完成年月 平成25年6月



○前浜マリンセンター

東日本大震災により全壊・流失した集会施設が住民参加型のプロジェクトにより再建されました。津波で被災した杉や、地元の木材が活用されています。

事業者 前浜地域振興会
所在地 気仙沼市本吉町前浜225-1
構造 木造平屋建
延床面積 251.13㎡
木材使用量 不明
完成年月 平成25年8月



県産材を利用した木造住宅



写真提供：有限会社伊藤ハウジング（栗原市）

（施工業者として第15回みやぎ木造住宅コンクール最優秀賞受賞（主催：宮城県木材協同組合））

地元の木材を手刻みにより加工し、技術の伝承に配慮した点が評価されました。

● お問い合わせ先 ●

宮城県 農林水産部 林業振興課

〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

電話：022-211-2912

FAX：022-211-2919

ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk>

E-mail：rinsin@pref.miyagi.jp



この印刷物は大豆油インキを使用し印刷されています。
この「みやぎ材利用のススメ」は、2,000部作成し1部あたりの単価は47円です。

平成26年3月作成